

具体的な施策やKPI等の改定案

1. 安定した雇用を創出する

(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)

- (ア) 包括的創業支援 (イ) 地域を担う中核企業支援
- (ウ) 企業誘致の推進 (エ) 地域イノベーションの推進

(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組)

- (ア) サービス産業の付加価値向上支援 (イ) 農林水産業の成長産業化
- (ウ) 世界遺産を活用したまちづくり (エ) 観光地域づくりの推進

(オ) 荒尾干潟を活用したまちづくり(新規)

(3) 人材育成及び雇用対策

- (ア) 若者の人材育成・就職支援 (イ) 女性に対するきめ細かな就職支援
- (ウ) 新規就農・就業者への総合的支援 (エ) 高齢化への就労支援
- (オ) 障がい者の就労支援 (カ) ひとり親世帯等への就労支援

2. 新しいひとの流れをつくる

(1) 本市への移住の促進

- (ア) 移住希望者への情報提供の強化 (イ) 二地域居住や住み替えの支援
- (ウ) 都市農村交流

(2) ふるさと定住の促進

- (ア) 産業界と学生のマッチング支援
- (イ) 産業界と連携したキャリア教育の実施(KPI修正)

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 若い世代の結婚希望の実現

- (ア) 若者雇用対策の推進 (イ) 広域連携による結婚希望者等への支援

(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- (ア) 妊娠期からの切れ目のない支援体制
- (イ) 乳幼児期から小児期における母子保健事業の実施(KPI修正)

(3) 子ども・子育て支援の充実

- (ア) 保育所等の待機児童の解消(文言修正) (イ) 多様な保育需要への対応(KPI修正)
- (ウ) 子育て世代の経済的負担の軽減(施策番号修正)
- (エ) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進(施策番号修正)

※「多子世帯の支援の充実」は「子育て世代の経済的負担の軽減」に統合

4. 時代に合ったまちづくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する

(1) コンパクトシティの推進と交通ネットワークの形成

- (ア) 都市のコンパクト化(KPI修正) (イ) 交通ネットワーク
- (ウ) 南新地土地区画整理事業を活用した中心拠点の再生(文言修正)

(2) 暮らしやすい地域づくりの推進

- (ア) 多世代交流・多機能型の拠点の形成(KPI修正) (イ) 地域福祉サービス等の提供
- (ウ) 生活困窮者支援 (エ) 家庭ごみの減量化・資源化

(3) 住宅ストックや公共施設等のマネジメント強化

- (ア) 空き家対策の推進 (イ) インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進(KPI修正)

(4) 広域連携の推進

- (ア) 多様な枠組みによる連携の推進

(5) 住民が地域防災の担い手となる環境の確保

- (ア) 地域の防犯・防災能力の強化(文言修正) (イ) 消防団の強化

(6) ふるさとづくりの推進

- (ア) 地域資源の環境保全 (イ) ふるさとの自然や歴史に対する誇りの醸成

(7) 地域エネルギーの有効活用によるまちづくりの推進(新規)

- (ア) エネルギーの地産地消の推進(新規)

5. 豊かな心、優れた教養、健やかな体を育む

(1) 学校教育の充実

- (ア) 確かな学力の育成 (イ) 豊かな心の育成 (ウ) 健康・体力の向上
- (エ) 教育基盤の整備・充実(文言修正) (オ) 学校教育施設の充実(新規)

(2) 社会教育の充実

- (ア) 学習情報や機会の提供 (イ) 学校・家庭・地域との連携推進
- (ウ) スポーツの推進(KPI修正) (エ) 文化活動の振興
- (オ) 文化財の適切な保存・顕彰

(3) 国際交流の推進

- (ア) 国際交流機会の拡充 (イ) 文化交流の推進

6. 健やかで安心できる暮らしをつくる

(1) 健康長寿社会の実現

- (ア) 新病院を中心とした健康で安心な暮らしの実現(文言・KPI修正) (イ) 健康寿命の延伸

(2) 地域包括ケアシステムの構築

- (ア) 生涯現役社会の実現と多様な担い手による支援体制の構築・活用
- (イ) 認知症対策の推進 (ウ) 切れ目のない医療・介護連携体制の構築
- (エ) 住民の希望、地域の実情に応じた多様な住まい・サービス基盤の整備・活用

(3) 障がい者(児)への総合的な支援体制の充実

- (ア) 障がい福祉サービスの充実 (イ) 発達障がいへの支援
- (ウ) 障がい者(児)の社会参加の促進

具体的な施策及び KPI の改定案

政策	1. 安定した雇用を創出する
重点施策	(2) 地域産業の競争力強化 (分野別取組)
具体的な施策	(オ) 荒尾干潟を活用したまちづくり (新規)
現行	—
改定案	<p>平成 24 年にラムサール条約湿地に登録された「荒尾干潟」の保全・利活用や学習及び啓発を目的とした「荒尾干潟水鳥・湿地センター (仮称)」の建設が平成 30 年度中に予定されている。この荒尾干潟や施設を拠点とし、市外から底生生物の観察会や探鳥会への参加をはじめ、観光客や研修等の参加者の来訪を促す。また有明海で同条約の登録を受けた佐賀市、鹿島市とも連携しており、今後はさらに強化を図り、啓発を推進する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <u>重要業績評価指標(KPI)</u> 荒尾干潟水鳥・湿地センター (仮称) の <u>入場者数 3 万人 (平成 31 年度)</u> </p>
改定理由	<p>平成 30 年度に建設が予定されている「荒尾干潟水鳥・湿地センター (仮称)」について、環境教育の推進や交流人口拡大の観点から活用を図るため、新たに具体的な施策を定めるもの。</p> <p>なお、KPI の目標値は、類似する施設等を参考に設定している。</p>

政策	2. 新しいひとの流れをつくる
重点施策	(2) ふるさと定住の促進
具体的な施策	(イ) 産業界と連携したキャリア教育の実施
現行	<p>地元学生に地元企業について知ってもらい、地元就職を推進する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 新規インターンシップ受入企業数 5社 (5か年の累計)</p>
改定案	<p>地元学生に地元企業について知ってもらい、地元就職を推進する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 市内事業所でインターンシップを実施した生徒数 179人 (平成31年度)</p>
改定理由	<p>当初の KPI をインターンシップ受入企業数としていたが、その企業に何人のインターンシップがあったかは不明であり、移住定住推進の観点からは、インターンシップを受け入れた企業数より、インターンシップを実施した生徒数の増減が重要となる。よって、市内の事業所に何人の生徒がインターンシップを行ったかを KPI とするもの。</p> <p>なお、少子化の影響により、県内の高校卒業生徒数は年々減少し続けると見込まれるが、インターンシップを実施する生徒数については、現状(平成28年度 179人)を維持するよう取組を行っていく。</p>

政策	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
重点施策	(2) 妊娠・出産・子育ての切り目ない支援
具体的な施策	(イ) 乳幼児期から小児期における母子保健事業の充実
現行	<p>子どもが健やかに育ち、また、安心して出産できるよう、妊産婦の孤立感や不安感を払拭するとともに、出産直後の健康面での悩みや育児不安を払拭するため母子保健事業を充実する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 母子保健事業に満足している者の割合 増加 (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>子どもが健やかに育ち、また、安心して出産できるよう、妊産婦の孤立感や不安感を払拭するとともに、出産直後の健康面での悩みや育児不安を払拭するため母子保健事業を充実する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 母子保健事業に満足している者の割合 60% (平成 31 年度)</p>
改定理由	平成 27 年実績値(53%)及び H28 実績値(54.4%)を考慮し、数値化した目標として 60%を設定するもの。

政策	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
重点施策	(3) 子ども・子育て支援の充実
具体的な施策	—
現行	<p>(ア) 保育所の待機児童の解消 幼児教育・保育・子育て支援の「量的拡充」(待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保や身近な子育て支援サービスの提供)及び「質の向上」(職員の配置や処遇の改善等)を行う。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 待機児童数 0 人 (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>(ア) 保育所等²の待機児童の解消 幼児教育・保育・子育て支援の「量的拡充」(待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保や身近な子育て支援サービスの提供)及び「質の向上」(職員の配置や処遇の改善等)を行う。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 待機児童数 0 人 (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>平成 27 年度から「子ども・子育て支援新制度」が本格施行され、幼稚園から認定子ども園への移行が進んだことで、保育が必要な児童を持つ保護者の選択肢が増え、保育所の待機児童解消策としても有効であると考えられる。保育所のみでなく認定子ども園も含ませるために、文言の修正を行うもの。</p>

政策	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
重点施策	(3) 子ども・子育て支援の充実
具体的な施策	(イ) 多様な保育需要への対応
現行	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき、本市の実情に応じた多様な支援策を実施し、仕事と家庭を両立しやすい環境を整備する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>重要業績評価指標(KPI) 学童保育の待機児童 0人(平成31年度) 希望した保育サービスを利用できなかった人の割合 減少(平成31年度)</p> </div>
改定案	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づき、本市の実情に応じた多様な支援策を実施し、仕事と家庭を両立しやすい環境を整備する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>重要業績評価指標(KPI) 学童保育の待機児童 0人(平成31年度) 希望した保育サービスを利用<u>できた</u>人の割合 <u>100%</u>(平成31年度)</p> </div>
改定理由	KPIを数値化するとともに、「利用できなかった」を「利用できた」と積極的な表現へと修正する。

政策	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
重点施策	(3) 子ども・子育て支援の充実
具体的な施策	—
現行	<p>(ウ) 多子世帯への支援の充実 理想子ども数が 3 人以上の夫婦が理想どおりの子どもを持つことができるよう、多子世帯の保育料の軽減や住宅・教育資金などの負担軽減について検討する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 多子世帯への助成額 増加 (平成 31 年度)</p> <p>(エ) 子育て世代の経済的負担の軽減 夫婦の予定子ども数が理想子ども数を下回る理由として、「お金がかかりすぎる」が最多であることから、子ども医療費の助成等、経済的負担を軽減する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合 減少 (平成 31 年度)</p> <p>(オ) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進 子育て家庭を応援する企業や NPO などの PR や支援、三世代同居・近居の推進などを通じ、高齢者をはじめとした地域住民が子育て支援の担い手ともなり、地域全体で子育て世代をサポートする環境づくりに取り組む。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) この地域で子育てをしたいと思う親の割合 100% (平成 31 年度)</p>

<p>改定案</p>	<p>(ウ) 子育て世代の経済的負担の軽減 夫婦の予定子ども数が理想子ども数を下回る理由として、「お金がかかりすぎる」が最多であることから、子ども医療費の助成等、経済的負担を軽減する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>重要業績評価指標(KPI) 理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合 減少 (平成 31 年度)</p> </div> <p>(エ) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進 子育て家庭を応援する企業や NPO などの PR や支援、三世代同居・近居の推進などを通じ、高齢者をはじめとした地域住民が子育て支援の担い手ともなり、地域全体で子育て世代をサポートする環境づくりに取り組む。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>重要業績評価指標(KPI) この地域で子育てをしたいと思う親の割合 100% (平成 31 年度)</p> </div>
<p>改定理由</p>	<p>具体的施策「(ウ) 多子世帯への支援の充実」、「(エ) 子育て世代の経済的負担の軽減」がともに子育て世代の経済的負担の軽減策のため、施策の一本化を図る。これに伴い、「(オ) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりの推進」を (エ) に繰り上げる。</p>

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する
重点施策	(1) コンパクトシティの推進と交通ネットワークの形成
具体的な施策	(ア) 都市のコンパクト化
現行	<p>公共施設や医療機関、生活関連施設などといった都市機能の集約を通じた中心市街地の活性化とともに、周辺の居住地域と連携した住みやすいまちづくりを行うため、都市のコンパクト化を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) コンパクトシティ形成のための計画策定 (平成 28 年度)</p>
改定案	<p>公共施設や医療・福祉・商業等の都市機能を中心拠点に誘導し集約することによって、地域経済の活性化を図るとともに、一定エリアにおいて生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう都市のコンパクト化を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 総人口に占める居住誘導区域内の人口の割合 59.1% (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>平成 28 年度の KPI の目標であった「コンパクトシティ形成のための計画策定 (立地適正化計画の策定)」を達成したため、新たな KPI として、立地適正化計画に基づくコンパクトシティの推進を図る観点から、居住誘導区域内の人口を目標値として定め、同計画に掲げている目指すべき都市像の実現に向けての施策、届出制度の運用や周知啓発により、緩やかな都市のコンパクト化を図るもの。なお、目標値は、平成 28 年度時点の現状値 (58.5%) と同計画の H47 年次目標値を考慮して設定している。</p> <p>(H29.3.31 時点の居住誘導区域内人口 31,424 人 / 住民基本台帳人口 53,675 人 ≒ 58.5%)</p>

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する
重点施策	(1) コンパクトシティの推進と交通ネットワークの形成
具体的な施策	—
現行	<p>(ウ) 荒尾競馬場跡地活用を通じた中心拠点の再生 約 26 ヘクタールに及ぶ広大な荒尾競馬場跡地の効果的な活用を通じた、荒尾駅周辺をはじめとした中心拠点の再生を図るため、荒尾競馬場跡地における面整備と都市機能の誘導を推進する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 競馬場跡地の公共施設整備進捗率 40% (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>(ウ) <u>南新地土地区画整理事業</u>を通じた中心拠点の再生 約 <u>34</u>ヘクタールに及ぶ広大な荒尾競馬場跡地<u>一帯</u>の効果的な活用を通じた、荒尾駅周辺をはじめとした中心拠点の再生を図るため、<u>土地区画整理事業による基盤整備</u>と都市機能の誘導を推進する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) <u>南新地地区</u>の公共施設整備 進捗率 40% (平成 31 年度)</p>
改定理由	平成 28 年 11 月に、荒尾競馬場跡地を含む南新地地区において、区画整理事業の事業計画を決定したため、文言の修正を行うもの。

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する
重点施策	(2) 暮らしやすい地域づくりの推進
具体的な施策	(ア) 多世代交流・多機能型の拠点の形成
現行	<p>多世代交流や福祉サービスの発信拠点とした施設の整備検討を行うとともに、公共施設や民間施設など、様々な未利用施設の活用も含め、地域の活動拠点の整備・充実を図る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 整備計画の検討 (平成 28 年度)</p>
改定案	<p>多世代交流や福祉サービスの発信拠点とした施設の整備検討を行うとともに、公共施設や民間施設など、様々な未利用施設の活用も含め、地域の活動拠点の整備・充実を図る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 整備計画の策定 (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>保健・福祉・子育てに関する複合施設について、整備方針を改めて検討するとともに、平成 31 年度までに、整備計画の策定を行うことを目指す。</p>

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する
重点施策	(3) 住宅ストックや公共施設等のマネジメント強化
具体的な施策	(イ) インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進
現行	<p>高度経済成長期を中心に整備してきた公共施設や道路・橋梁、上下水道など、生活に欠かすことが出来ない公共インフラが老朽化する中、必要なインフラ機能を維持しつつ、公共施設等の魅力を高め、財政負担の抑制・平準化を図るため、公共施設等の戦略的な維持管理・更新を推進する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 公共施設等総合管理計画の策定 (平成 28 年度)</p>
改定案	<p>高度経済成長期を中心に整備してきた公共施設や道路・橋梁、上下水道など、生活に欠かすことが出来ない公共インフラが老朽化する中、必要なインフラ機能を維持しつつ、公共施設等の魅力を高め、財政負担の抑制・平準化を図るため、公共施設等の戦略的な維持管理・更新を推進する。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) <u>個別施設計画(長寿命化計画)策定のための施設調査の実施</u> (平成 31 年度)</p>
改定理由	平成 28 年度の KPI の目標であった「公共施設等総合管理計画の策定」を達成したため、新たな KPI として、公共施設等総合管理計画をより具体化した、個別の施設毎の計画策定へ向けた目標を定めるもの。

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する
重点施策	(5) 住民が地域防災の担い手となる環境の確保
具体的な施策	(ア) 地域防犯・防災能力の強化
現行	<p>様々な災害に対する地域の防災力向上や防災に対する意識啓発を図るため、地域の自主防災組織の設立を推進する。また、道路の防犯灯整備促進や交通安全対策、防犯パトロール等を通じて、防犯体制の強化を図る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">重要業績評価指標(KPI) 安全だと思う市民の割合 70% (平成 31 年度)</p>
改定案	<p><u>熊本地震などを教訓に、今後、大規模災害が発生した場合に対応するための地域防災計画の充実や各種災害対応マニュアルの整備、防災情報伝達手段の整備検討を行うとともに自主防災組織を支援育成し、地域防災力の強化を図る。</u>また、道路の防犯灯整備促進や交通安全対策、防犯パトロール等を通じて、防犯体制の強化を図る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">重要業績評価指標(KPI) 安全だと思う市民の割合 70% (平成 31 年度)</p>
改定理由	荒尾市防災計画と整合を図ると共に、熊本地震等の文言を追加修正するもの。

政策	4. 時代に合ったまちをつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を推進する。
重点施策	(7) 地域エネルギーの有効活用によるまちづくりの推進 (新規)
具体的な施策	(ア) エネルギーの地産地消の推進 (新規)
現行	—
改定案	<p>本市には、太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギー発電施設の立地が進み、既に市内全世帯の電力を賄える状況にある。この特性を生かして官民連携により、地域で発電された再生可能エネルギーを活用し、市の公共施設や市内及び近隣自治体の企業等へ電力供給することで、エネルギーの地産地消の推進を図り、新たなまちづくりへの取組みにつなげていく。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) エネルギーの地産地消に取り組む市内の公共施設及び企業等の数 40 施設 (平成31年度)</p>
改定理由	<p>本市では、民間企業 2 社と地域エネルギーの有効活用等を中心としたまちづくりに関する連携協定を締結しており、その連携協定に基づき、市内に民間出資による地域電力会社を新たに設立し、地域で発電された再生可能エネルギーを活用して、市の公共施設及び市内と近隣自治体の企業等へ電力供給するエネルギーの地産地消の推進、及び地域活性化に資する新たな取組みを図るための検討を行っているところ。</p> <p>エネルギーの地産地消の推進を図ることで、安価な電力供給による地域産業の下支え、再生可能エネルギーの活用による温室ガス抑制効果、地元での電力の売買による地域経済循環、新電力会社設立による地元雇用の機会創出など、大きな効果が期待できる。</p>

政策	5.豊かな心、優れた教養、健やかな体を育む
重点施策	(1) 学校教育の充実
具体的な施策	—
現行	<p>(エ) 一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の充実 一人ひとりの発達段階に合った教育活動を行うとともに、開かれた学校づくりや教育環境の充実、教職員の資質・指導力の向上を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 児童一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、伝えるなど積極的に評価をしている学校の割合 全国平均を上回る (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>(エ) 教育基盤の整備・充実 一人ひとりの発達段階に合った教育活動を行うとともに、開かれた学校づくりや教育環境の充実、教職員の資質・指導力の向上を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 児童一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、伝えるなど積極的に評価をしている学校の割合 全国平均を上回る (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>新たな具体的な施策として「5.(1).(ウ)学校教育施設の充実」を定めることに伴い、施策名の変更を行うもの。</p>

政策	5.豊かな心、優れた教養、健やかな体を育む
重点施策	(1) 学校教育の充実
具体的な施策	(オ) 学校教育施設の充実 (新規)
現行	—
改定案	<p>学校教育施設の老朽化等に伴い、早急に対応すべき箇所については迅速に対応し児童・生徒の安全確保を図るとともに、中長期的な維持管理・修繕等に係る個別施設（修繕）計画を策定し児童・生徒の教育環境の向上を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度分緊急修繕計画の策定（平成29年度）及び推進（平成30年度） ・個別施設（修繕）計画の策定（平成30年度）及び推進（平成31年度）
改定理由	<p>あらお未来プロジェクトに基づき、「子どもへの投資」を加速させ、荒尾の未来を担う子どもの教育環境を早急に改善する。</p>

政策	5. 豊かな心、優れた教養、健やかな体を育む
重点施策	(2) 社会教育の充実
具体的な施策	(ウ) スポーツの推進
現行	<p>年齢、体力、目的等に応じて、普段の生活の中で様々なスポーツに触れ合うことができるよう、体育施設の充実や各種スポーツ団体の拡充を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 運動習慣のある者の割合 男性 39% 女性 35% (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>年齢、体力、目的等に応じて、普段の生活の中で様々なスポーツに触れ合うことができるよう、体育施設の充実や各種スポーツ団体の拡充を図る。</p> <p>重要業績評価指標(KPI) 運動習慣のある者の割合 55% (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>平成 28 年度に策定した荒尾市スポーツ振興計画では、短期目標として、平成 32 年度までに運動習慣のある者の割合を 55%とすることを定めている。同計画と整合を図るため、運動習慣のある者の男女別を統合するとともに、目標値の上方修正を行うもの。</p>

政策	6. 健やかで安心できる暮らしをつくる
重点施策	(1) 健康長寿社会の実現
具体的な施策	—
現行	<p>(ア) 中核病院「荒尾市民病院」の新病院建設</p> <p>本市には県内でも有数の医療機能を誇る荒尾市民病院があり、がんや脳卒中、心筋梗塞など命に関わる病に対応することができる。老朽化した施設を建て替え、療養環境の質の向上を図るとともに、医師などの医療スタッフが集まる魅力ある病院として、更に質の高い医療を提供する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) 新病院の開院 (平成 31 年度)</p>
改定案	<p>(ア) <u>新病院を中心とした健康で安心な暮らしの実現</u></p> <p><u>荒尾市民病院の現地周辺への建て替えにより、新病院を中心とした医療環境の充実を図るとともに、新病院建設を通じて本市の保健・医療・福祉に関する都市機能の連携を強化することによって、本市で生涯暮らすことの魅力を高め、健康で安心した暮らしを送ることができる地域づくりを推進する。</u></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">重要業績評価指標(KPI) <u>新病院の設計完了</u> (平成 31 年度)</p>
改定理由	<p>荒尾市民病院の建設地選定に伴い、文言の修正を行うもの。なお、新病院は、平成 34 年 6 月までに開院予定。</p>